墓掃除から家具の移動まで

県内代行業 新サービス続々

徳島県内のさまざまな分野で代行サービスが広がっている。昔ながらの家事代行に加え、墓の清掃や家具移動といった新たなジャンルも登場。高齢化や核家族化が進んで自ら担えなかったり、時間を有効に使いたい共働き世帯が増えたりといった事情があるようだ。リピーターが多く、年間契約を結ぶケースも目立つ。（木村恭明）

墓掃除を代行する「墓っちゃん」のスタッフ＝鳴門市内

墓石製造販売のハマダ石材（鳴門市大麻町桧）は「墓っちゃん」と銘打ち、墓掃除と墓参りの代行サービスを2017年12月に始めた。濱田雅善社長が、手入れされないまま放置された墓をよく見掛けるようになり、事業化を思いついた。

県外からの受注が約7割を占め、関東や東海、九州など全国に及ぶ。濱田社長は「お客さんの多くが50～60代で、県内に住む親が亡くなり、墓を管理する人がいなくなったという理由で頼まれる」と話す。

作業の前と後に撮影した写真と、墓石に傾きや亀裂などがないかチェックした「健康診断書」をメールか郵送で利用客に送る。墓の周りの清掃に花のお供えや線香を加えたコースが1回1万5千円（税別）。年4回出向く年間契約が増えており、現在は約25件ある。

共働きや高齢世帯に好評

不動産業のHYみはるホーム（徳島市国府町日開）は15年から「徳島草刈り本舗」の名称で草刈り代行に取り組む。利用は年々伸び、17年3月からの1年間は前年比約40件増の約150件になった。それ以外に、月1回作業する年間契約も約50件に上る。

共働き世帯や高齢者世帯を中心に注文があり、自宅の庭だけでなく休耕田や空き地も頼まれる。米田久夫社長は「3㍍くらい伸びるなど、自分ではどうにもならなくなってからの依頼が目立つ」と話す。価格は1平方㍍80円（税別）から。面積に応じて3～10人が訪れ、鎌や刈り払い機を使って刈るほか、木も伐採する。

家庭菜園用の畑の草刈りを頼んだ徳島市内の50代女性は「夫が手入れしていたが、大変なので初めて利用した。きれいに仕上げてくれた」と喜ぶ。

タンスやベッドといった備え付けの家具を別の場所に移動させるサービスを行っているのが、家具販売の旭木工（同市東沖洲2）だ。3年前に始め、依頼件数は毎年100件を超える。

同社で買った家具以外でも対応する。利用者の中心は、子どもが進学や就職、結婚で家を離れ、生活スタイルを見直す高齢者世帯。地震に備えたり、廃棄したりする際の要望も多い。

中村信之営業部長は「主たる生活場所を広く使いたいという場合に多く利用される」と言う。在宅介護用の部屋を整えるケースもあり、高齢化が進むにつれ、こうした需要は伸びるとみている。

依頼を受けて草刈りをするHYみはるホームの米田社長㊧ら＝徳島市内

「従来型」

以前からある家事代行も人気は高まる一方だ。ハウスクリーニングのおそうじ本舗城東店と徳島佐古店（ともに徳島市）の昨年１年間の総依頼件数は990件で、前年の1・3倍になった。

料理、掃除、シッターといった家事代行を担う生活総合支援企業クラッシー（本社・徳島市東船場町２）の17年度の県内利用数は約２万件。ここ３年ほど前年度比十数％増の右肩上がりで、掃除が全体の６割、料理が２割弱だという。